

## 議長記者会見（第47回）会見録

日時：令和5年9月29日（金）

午後2時00分から

場所：石川県議会議事堂

議長応接室

会見を行う焼田議長（右）と平蔵副議長（左）



それでは、今定例会を終えて、所感を少し述べさせていただきます。

この夏は、前線の停滞により、全国各地で大雨が相次ぎ、河川の氾濫や浸水被害、土砂災害等が発生し、大きな被害をもたらしました。

被害に遭われた皆様方に対して、心からお見舞いを申し上げますとともに、復旧に尽力いただいておりますボランティアや関係者の皆様方に心より敬意を表する次第であります。

県内においても、7月12日から13日にかけての大雨では、線状降水帯の発生により、初めてとなる「顕著な大雨に関する気象情報」が発表され、河北郡市を中心に1時間雨量が観測史上最大となるなど、記録的な大雨となり、能瀬川や宇ノ気川などで氾濫や浸水が発生し、公共土木施設、農地・農業用施設などに甚大な被害が発生いたしました。

国は、本県を含む全国各地で発生した一連の大雨被害を、激甚災害に指定したところであ

り、我々議会としても、被災者の皆様方の生活再建支援と、災害復旧に向けた施策が、しっかりと実行できるよう、執行部と連携を図りながら、全力で取り組んでいく所存であります。

次に、今定例会を振り返ってであります。

今ほどもお話しいたしましたように、相次ぐ大雨により甚大な被害が発生したことから、今議会でも、今回の大雨災害への執行部の対応をはじめ、生活再建支援、災害復旧の進め方、流域治水対策など、防災・減災対策に関連して、活発な論戦が繰り広げられました。

議会としても、執行部とともに、被災地の復旧・復興に向けて、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

次に、来月に開催される国民文化祭や、文化観光の更なる推進、また、小松台湾便の運航再開に伴うインバウンドへの対応など、観光振興策に関連した質問も数多くありました。議会としても、本県の観光誘客の発展・加速を目指し、今後も執行部としっかり議論を重ねてまいりたいと思います。

また、本定例会に提案のあった石川県成長戦略については、本日可決されました。今後は、成長戦略に基づき、執行部において、具体の施策が推進されていくこととなりますが、成長戦略に掲げる目標の達成状況について精査していくなど、今後も、議会としての役割をしっかりと果たしてまいります。また、福村県議から、成長戦略を検証、深化させる諮問機関の設置に関する提案があるなど、本県議会としては、約10年ぶりとなる関連質問も行われました。

本定例会では、その他にも、農林水産物の販路拡大等に関することや、知事公舎の利活用、DX・GXの推進に関する事など、本定例会では、県政が直面する多くの課題に関して活発な質疑がなされました。

今後とも議会として、こうした多方面の多くの課題に対して、執行部と丁寧に議論を行ってまいりたいと思います。

また、今定例会中に可決された意見書についてであります。意見書等調整会議におきまして、調整等された結果、各党派から提案のあった6件の意見書のうち、「除雪業務における時間外労働の取扱いに関する意見書」など3件が可決されました。可決された意見書3件については、議会として国へ要望するものであり、国会及び関係行政庁へ提出することとしております。

次に、「ふれあい親子県議会教室」及び「夏休み中学生県議会教室」の結果報告についてであります。

今回、共に、募集定員を上回る多くの方に応募いただきました。「ふれあい親子県議会教室」については、先月8日、9日に開催し67組の親子に、今年度新たに開催した「夏休み中学生県議会教室」については、先月10日に開催し22組に参加いただきました。参加し

た皆さんには、とても好評であったと聞いており、大変良かったと思います。

次に、「政策調査会研修会」についてであります。

議会の政策立案機能等の充実・強化を目的として、平成22年度に「石川県議会政策調査会」を設置し、これまで政策条例の立案等を行ったきたところではありますが、今回の改選後、多くの新人議員が加わったことから、議員の政策立案機能向上を図るため、今月12日に東北大学大学院河村和徳准教授を講師に迎え、研修会を開催しました。

当日、講師からは、専門分野である「議員の条例提案権の活用」をテーマにご講演いただくとともに、活発な意見交換も行われ、議員各位は理解を深めることが出来たものと考えております。

次に、韓国・全羅北道(ぜんらほくどう)議会への表敬訪問についてであります。

8月2日から5日の日程で、私を含めた7名の議員が、韓国の全羅北道議会などを訪問してまいりました。

鞠朱榮恩(ククチュヨンウン)議長との会談では、コロナ禍等の理由で中断していた、両議会間の相互訪問を再開することを申し合わせたほか、先方からは、来年5月に、本県を訪問したい旨の意向が示されたところであります。

次に、北陸新幹線の県内全線開業についてであります。

先日、北陸新幹線の県内停車駅の本数が決定されました。また、来月1日には、私も出席させていただく予定ですが、W7系車両試験走行歓迎セレモニーが開催されるなど、開業に向けた機運が高まってきており、来年3月16日の県内全線開業に向けて、執行部とともに、しっかりと連携し、取り組んでまいりたいと考えております。

次に、大相撲秋場所で大活躍した、大の里関についてであります。

新十両でありながら、序盤から破竹の9連勝で白星を重ね、最終日まで優勝争いを演じ、惜しくも優勝とはなりませんでしたが、同郷の若者の活躍は、地元である津幡のみならず、石川県全体にとって大変明るいニュースであり、私も含め、大変、元気づけられました。大の里のみならず、遠藤、輝、炎鵬など、郷土出身力士には、今後のますますの活躍に大いに期待したいと思います。

最後に、季節性とは言えないかもしれませんが、この時期にインフルエンザが流行しております。報道にもありましたけども、県立高校が一時休校となる事態となったとのことであり、来月の7日、私も出席する「かごしま国体」に参加される選手の方のみならず、私も含め、皆さん、体調管理には十分ご留意いただきたいと思っております。

私からは、以上でございます。

## <質疑応答>

記者

成長戦略について言及ありました。議会としてのチェック的な役割ということだったと思いますが、石川県が今後どう発展していくのかというような、期待みたいなものをいただけないでしょうか。議長、副議長それぞれから、コメントをお願いします。

焼田議長

具体的な施策について、何をいつまでにどれだけとか、色んな数値目標があると思います。それに関連して、福村議員からも色々提案がありましたが、検証するシステムがやっばり必要かなと私も思っております。よくPDCAを回すという言葉があるかと思えます。施策がどう進行しているか、しっかり把握しながら、進めていけるような、機関というか、組織作りも必要と思っております。

平蔵副議長

成長戦略に関しましては、やはり目標の達成に向けて、しっかりと取り組んでいただきたいと思えます。そのためには、様々な施策が講じられてくるだろうと思っております。知事が掲げる幸福度日本一を目指していく訳でありますから、能登、金沢、加賀の均衡のある発展、そして、県民の安全安心ですね、災害が今多発しておりますので、しっかりとそういった面も含めて、対応していただければなと思えます。議会としてもしっかりとしたチェック機能を持って、監視できていければと思えますし、意見も言わせていただければと思っております。

記者

共産党から要望書出てますけど、代表質問の質問の枠が、他県に比べて非常に狭いのではないかと思っております。石川県は、福井県や富山県と比べて、議員数が一番多いのに、質問者が今回、代表と一般だけだと13人と、非常に一番少ないですし、もちろん色んな歴史的過程があるっていうのは、ある程度は聞いてますが、議長は改めて、どうあるべきと考えますか。

焼田議長

私は代表質問が半日で終わってしまうものですから、ちょっと寂しいなという気持ちはあります。自民党だけじゃなくて、他の意見も聞ければいいのかなというふうには個人的には思っているんですけども、そのあたりは、これからまた、色々と煮詰めていかなければならないこともあると思えます。会派間の関係もありますし、党派の違いによっては、見方も色々あるのかなと思えますので、そういったところも、検討していく必要はあるのかなと

いうふうに思います。

記者

確か金沢市議会が、今回、一般質問の人数が多くいたので、1日増やしたとのことですが、どう思われますか。

焼田議長

金沢市議会は、1つの地域だけの議会ですので、開催もしやすいのかなとは思いますが、県議会となると、能登から加賀まで、広い範囲での議員がここ金沢に集まってくるといこととなりますので、そういった見方もあるので、慎重に議論する必要もあると思います。

以 上